

# 日和田 見聞録

—ひわだけんぶんろく—

総合南東北福祉センター

9 2015  
月号

- 特別養護老人ホーム 南東北ロイヤルライフ館
- ケアハウス 南東北ライフケア館
- 南東北日和田デイサービスセンター
- 南東北日和田ホームヘルパーステーション
- 南東北日和田居宅介護支援事業所
- 南東北日和田居宅介護支援センター
- 日和田・西田地域包括支援センター(郡山市委託事業)
- 障がい者支援施設 南東北さくら館
- 通所事業所 南東北さくら館

—すべては利用者さんのために—



「よさこいでパワー全開！！」  
第17回 総合南東北福祉センターまつり

## 南東北ライフケア館

ケアハウス

### 大収穫祭



8月12日にケアハウス南東北ライフケア館では、春に植えた枝豆とかぼちゃの収穫を行いました。昨年、入居者さんから「美味しいかった。だけどもつと食べたかったな」という声があり、畑を大きくしたため、より多くの作物が実りました。職員が畑から苗を抜き、入居者さんには苗から豆を取りつてもらい、協力しながら取り組みました。

最後は、枝豆を茹でて、試食。

「美味しい」「ちょうどいい」

「ちょうどいい時に収穫したね」と声があがり、好評でした。

昼食時にも、入居者さんに枝豆を配り、食べてもらいました。また収穫量が多くだったので、職員にも配ることができて、施設全体で堪能しました。

暑い中の畑作業は大変でしたが、入居者さんには笑顔がありました。

があり、楽しく収穫できました。



## 南東北日和田 デイサービスセンター

### 脳活リハビリ

通所介護・南東北日和田デイ

サービスセンターけやきでは、五感(視覚・嗅覚・触覚・聴覚・味覚)を

刺激した脳活リハビリを行っています。五感を刺激することによって前頭葉の神経細胞を目覚めさせ、それを司る脳の各部位が活性化され認

知症状の安定を促すとされています。クラシックを聴くことによるリラックス効果を図ったり、歌唱による脳刺激、

またボードの数字を触り動体視力を向上させたり、脳へ繋がる神経が多い手のハンドマッサージなど他にも五感

行つてきました! カラオケに

通所介護・南東北日和田デイ

サービスセンターでは外出ツアーやシダックス店のカラオケ

に行つてきました。デイサービ

スにもカラオケの機材がありま

すが、本格的にカラオケ店に

行って歌うのは皆さん久しぶり

で「歌いたい曲がたくさん入っ

ていて、選ぶのが楽しかった」、「

好きな歌を思う存分歌えて最高

だった!」と盛り上がりました。

また、「普段飲めないジュース

を飲む事ができて美味しかつ

た」と、カラオケ以外の面でも好評でした。



障がい者支援施設  
南東北さくら館

## パズルゲーム

障がい者支援施設南東北さくら館では毎週様々なレクリエーションを企画し行っています。そのうちの二つをご紹介します。まず一つ目はパズルゲームです。

利用者さんはお手本の絵を見てバラバラになっているピースを組み立てます。利用者達は、試行錯誤しながらも上手くピースがはまるごと歓声をあげていました。完成したパズルを見て、「ホントに絵とそっくりになつた」と笑い合いました。

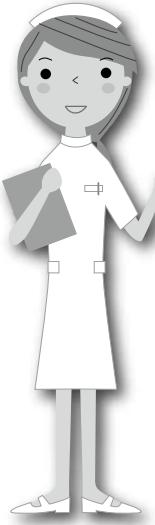


## ボール遊び

二つ目は、ゴムボールを使った球転がしリレーです。利用者達は、机を囲むように座り、大きなゴムボールを落ちないようリズム良く弾いてラリーを続けます。力の強い利用者さんが勢いの余り、ボールを遠くに飛ばしてしまい、周りから歓声がわきました。中々投げられない利用者さんには「がんばれー」「負けるなー」といった声援がおこりました。



「良い運動になつた」とみんなで笑いました。



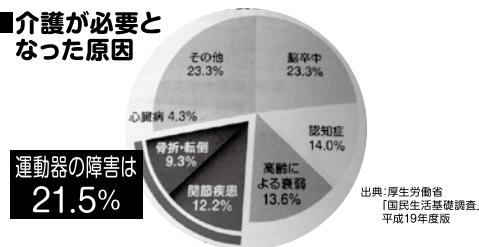
看護部から

## 骨粗鬆症について

**介護・寝たきりの原因の多くは骨折や関節疾患です！  
介護を受ける5人に1人は運動器の障害が原因**

骨は加齢やホルモンなどの影響、運動不足などが原因で衰弱になります。衰弱になった骨は転倒など日常生活のささいなことでも骨折を起こしやすくなります。骨折は、その部位によっては、介護・寝たきりの原因になってしまいます。介護が必要になったり、寝たきりにならなければ、骨の強さを調べて、日頃から骨折を防ぐ工夫が必要です。

■介護が必要となった原因



### 骨粗鬆症ってどんな病気？

骨粗鬆症は骨がもろくなり骨折しやすくなる病気です。

骨粗鬆症とは、加齢や閉経や運動不足、栄養の偏りなどが原因で骨の量が減少し、骨がもろくなる病気です。病気になりたてのころは自覚症状に乏しく発見しづらい病気ですが、50歳以上の女性の4人に1人が発症しているとても身近な病気です。骨がもろくなることで、重い物を持ち上げたり、ささいな転倒で簡単に骨折しやすくなります。骨折は、その部位によっては、寝たきりの原因にもなりますので、健やかな生活を送る上で、早期発見、早期治療そして治療の継続がとても重要な病気です。

早めに気づきましょう！  
骨粗鬆症のサイン

骨粗鬆症は自覚症状が少ない病気です。そのため、骨折して初めて骨粗鬆症になっていることがあります。紹介している症状は、骨粗鬆症でよくみられる症状です。



### 骨を強くする食事の工夫

- 骨の材料カルシウム、カルシウムの働きを助ける**ビタミンD**
- 腸管内でカルシウムを体内に取り入れる役目を果たしている**ビタミンD**
- 血液にのり骨まで辿り着き、骨を強くする**カルシウム**

カルシウムは骨を構成する主要な成分です。しかしながら、加齢とともに体内に吸収されにくくなってしまいます。ビタミンDは、腸管からのカルシウム吸収を促進します。そのため、骨を強くするために、ビタミンDもしっかり摂取することが重要なのです。

### 意識しましょうビタミンD

日本人の高齢女性を対象に行った調査によると、半数以上の方がビタミンD不足であることがわかりました。骨を強くするために、普段からビタミンDを意識した食生活を送る必要があります。

丈夫な骨を維持するには、適度な運動と栄養バランスの良い食事が必要です。栄養が十分でないと、骨の形成に必要なカルシウムやビタミンDが不足し、骨折しやすくなります。

#### カルシウムの多い食品

牛乳・チーズ・小魚・ひじき・豆腐・小松菜等

#### ビタミンDの多い食品

サケ・サンマ・カレイ・うなぎの蒲焼き等

### 日常生活の工夫

#### 適度な運動と日光浴は骨を丈夫にします

運動する事で骨に対し適度な負荷をかけることは、骨の量を保ち、骨折予防につながります。

また、屋外で運動する事は、日光によるビタミンD生産を高め、腸管からのカルシウム吸収を促進し、骨を丈夫にします。

日常生活の中で工夫して運動を心がけることが大切です。「継続は力なり」このことわざは、運動の骨に対する効果にも当てはまります。



### 転倒予防で骨折を予防しましょう

高齢の方が骨折を起こすのは、外出先よりも、家の中が多い事が分かっています。家中で転倒しないように工夫する事は骨折を防ぐ上で重要なことです。



スリッパを履くときはすべらないように注意する



じゅうたんやマットのはし、部屋の段差でつまずかないよう注意する



暗い場所に行くときは必ず電気を点ける



階段や浴室にてすりをつける



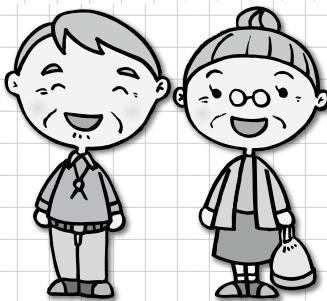
コタツや電気器具のコードで足を引っ掛けないよう注意する

## 相談室より

# ケアハウス南東北ライフケア館での生活

### 【食 事】

栄養、味、見た目を考えて作った食事を提供しております。また土用の丑の日にはうなぎ、秋には芋煮汁など季節を感じられるメニューになっております。



### 【買い物】

買い物は、当施設から近くのスーパーまで、毎週1回往復送迎しております。その他に、施設内に移動売店やパン屋などが来所し、買い物を楽しむことができます。

### 【外出や外泊、内泊】

各自、届け出を提出して頂ければ、自由に外出、外泊が可能です。ご家族やご友人も内泊でき、希望により寝具の貸し出しや食事の提供も行っております。(有料サービスになります。)

### 【行 事】

施設内の行事は、カラオケクラブ、映画鑑賞会、創作活動などがあります。外出行事としては、日帰り温泉ツアー、お花見や紅葉ツアーなどを企画しております。気分転換や他入居者との楽しい時間を過ごせると好評です。



<お問合せ先>

**ケアハウス 南東北ライフケア館**

TEL024-968-1018(直通) 増子(ましこ)・八代(やしろ)・相楽(さがら)

## ワシントン リハビリ

### 『作業療法 作品作り、

日中と朝夕の気温差が激しく体調管理に悩まされる日々となっていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。皆さん、作業療法で行なわれる作品作りをご存知でしょうか?作業療法(※作業療法は身体のリハビリもあります)について少し説明します。身体の障害・こころの病気により、日常生活で行なう当たり前の活動が大変になることがあります。そこで、色々なモノ作りをすることやスポーツ、料理などみなさんが毎日行っている活動と実際変わりがないようなことを行い、作業療法士が関わりながらその当たり前の活動に治療的な意味を加えた作業療法プログラムに参加していただき、役割を持ち楽しみのある生活を過ごしてもらうことが作業療法での作品作りです。

現在ロイヤルライフ館で行なわれている作業活動の一部ですが、  
籠細工・プラカゴ作り・折り紙活動などを行なっています。



